

乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.59

2019.4

ACP (アドバンス ケア プランニング) をご存知ですか？

ACP (アドバンス ケア プランニング) とは、「将来の意思決定ができない状態になった時に備えて、患者さんやそのご家族と、どこでどのような医療や療養を望むかを話し合う取り組み」です。最近、巷では「終活」や「エンディングノート」という言葉を耳にする機会も多いですが、これらもACPに含まれます。厚生労働省がより一般の方々にこの概念を広げたいと平成30年に愛称を公募し、「人生会議」に決定しました。

「もしものとき」のあなたの代理人

「もしものとき」に備えて、自分が大切にしていることや望んでいること、自分はどんな医療を受けたいか（受けたくないか）を考えることは、誰にとっても大切なことだと思います。ACPの最も重要な点は、そこからもう一歩進んで、自分の考えを周囲の大切な方に相談し理解・共有してもらうこと、まさに「会議」だということです。

「会議」は自分一人では行うことができません。誰にその「会議」に参加してもらうのか、これを考えることも大切なプロセスの一つです。その方が「もしものとき」のあなたの「代理人」になる方です。この「会議」は、自分のためだけではなく「代理人」にとっても非常に意義のある話し合いであることがわかっています。

一方で、「もしものとき」のことを考えたり話したりすることは、「自分には関係ない」「先延ばしにしたい」話題なのかもしれません。そんな時は無理をせず、あくまでも自発的に考えていただけるように配慮することも重要です。



ACPを介して自分たちの考えを見つめなおす

もっとACP (アドバンス ケア プランニング) の概念が広がって、「もしものとき」のことを相談するのが「特別なこと」ではなくなる日が来ればいいなと思います。ACPを介して、自分自身や周りの方と大切にしたいこと、今考えていることを見つめなおすきっかけになることを願い、私たち医療従事者はこれらを最大限尊重することができるようになっていきたいと思います。

乳腺外科 大城 智弥

市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865

